

令和2年度通常代議員総会議案書

【審議事項】

- | | |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 令和元年度事業報告並びに決算報告について |
| 第2号議案 | 任期満了に伴う理事14名の選任について |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う監事2名の選任について |

令和2年6月18日
一般社団法人 学士会

【審議事項】

第1号議案

令和元年度事業報告並びに決算報告

I. 令和元年度事業報告（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

事業概況

令和元年度の事業報告を行うに当たり、まずは「新型コロナウイルス感染症」の拡大による本会会務への影響について触れざるを得ません。2月中旬より顕在化された感染者の発生と更なる感染拡大防止への対応から「令和元年度臨時代議員総会」（3月19日予定）の開催中止を始めとし、3月講演会（夕食会・午餐会）や九州講演会の中止、その他、会員向けの各種企画イベントが中止となりました。関係七大学においても卒業式・修了式の中止や式典形態の変更が行われ、例年、多くの新規会員獲得の機会でもあった卒業生等に対する入会勧誘活動も思い通りには実施できず、その結果、新入会者数も例年に比べ大幅な減少となりました。

更にその影響の大きさ・深刻さという点では学士会館の営業面への影響が挙げられます。会館運営は100%子会社（(株) 学士会館精養軒）に委託しているものの、本会事業の8割近くを占める会館運営事業への影響は深刻で、新年度を迎えてもこの状況は更に厳しさを増して続いており、予断を許さない状況です。本年度は1ヶ月間の全館休館の上で実施した「耐震補強工事」の影響もあり、会館運営にとっては大変に厳しい1年となりました。

以下、本年度の実施事業についてその概要を報告致します。

令和元年度の本会は、取り組むべき重点課題として以下の3点を掲げ、当該課題に対する積極的な取組みを行うとともに、定款に定める各種事業を実施してきました。

- (1) 学士会館の将来構想—会館整備問題についての方向付け
- (2) 本会の魅力作りに向けた活動の展開・継続実施
- (3) 七大学及び関連同窓団体との良好な協力関係の構築と連携・協働事業の実施

令和元年度の各事業の実施状況は後段にて詳述致しますが、以下、重点課題に対する取組み結果について報告致します。

(1) 学士会館の将来構想—会館整備問題についての方向付け

本年度は前年度の臨時代議員総会において決定された『学士会館の整備に関する基本方針』に基づき、学士会館の再開発に向けた、より具体的な一歩を踏み出すこととなりました。理事会の下に新たに設置された専門委員会「学士会館再開発委員会」（委員長：桐野高明常務理事）を中心に、再開発問題に対する具体的事項の検討や各種決定を行ってきました。

再開発に関しては本会独自の単独開発の他、周辺隣地との共同開発の可能性について具体的な検討を行うなど、基本方針に定めた課題の推進や想定スケジュールに沿った活動を展開してきました。その経過は概ね順調に推移しており、来年度は基本方針の想定スケジュールに則り、第二ステップとも呼べる段階に移行してまいります。

なお、今後とも重要な意思決定に際しては、理事会の決議や定款の定めるところにより代議員総会の承認を得るなど、所要の手続きを踏みながら進めてまいります。

(2) 本会の魅力作りに向けた活動の展開・継続実施

会員にとって本会の存在や活動を一層魅力あるものにするため、既存事業（講演会や会報発行）の充実に努めるとともに、会員各層（シニア会員、若手会員、学生会員、地域会員等）のニーズに応えるべく、当該会員にとって魅力のあるプログラムの開発・提供に学士会館ともども取り組んで来ました。

(実施活動の具体的内容につきましては、後述致します。)

講演会(午餐会・夕食会等)の企画に際しては、会員にとって興味・関心の高いテーマの選定に努めるとともに、魅力ある講師陣の選任に努め、多くの方の参加を得ることができました。

なお、残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、3月の夕食会・午餐会を中止するとともに、2月～3月にかけて予定していました地域講演会や各種会員向けイベントも残念ながら中止することになりました。

昨年度より開始しました『學士會会報』のデジタルアーカイブ化(過去の掲載原稿をWeb上で検索・閲覧できるサービスの導入)に加え、講演会の動画配信に向けての準備に着手するなど、会員サービスの一層の向上に努めてまいりました。

(3) 七大学及び関連同窓団体との良好な協力関係の構築と連携・協働事業の実施

本年度は、「新型コロナウイルス感染症」対策の一環として七大学において卒業式・修了式が実質的に中止となり、例年のような卒業生・修了生に対する組織的な入会勧誘活動が実施で出来ないという事態となりました。一方、昨年度より各大学の理解・協力を得て進めてきました新入生に対する「学生会員」への入会勧誘活動は昨年同様に活発に行う事ができ、多くの入会者(登録者)を得ることが出来ました(657名)。また、恒例となっている地域講演会の実施に際しても大学支部の存在を基礎に、本会・大学一体となった運営が図られるようになりました。

一昨年度より実施している卒業生・同窓会を所管する各大学の責任者・関係者による意見交換会(「七大学同窓会担当事務局連絡会議」)を、本年度は11月に開催し、各大学が抱える課題の共有や効果的な実施施策の紹介など、忌憚のない意見交換・情報交換を行うことができました。

以下、各事業別にその概要を報告致します。

1. 会 報 (『學士會会報』 及び 『NU7』)

本会会報である『學士會会報』と『NU7』を隔月に同時発行致しました。『學士會会報』は第936号を令和元年5月、第937号を7月、第938号を9月、第939号を11月、第940号を令和2年1月、第941号を3月にそれぞれ発行し、全会員に配布致しました。また、『學士會会報』は七大学各学部図書館に寄贈する他、国立国会図書館や各県立図書館等へも毎号寄贈し、本会の目的でもある“学術的文化的知識の交流普及”に努めました。

七大学総合情報誌として平成27年9月より発行している『NU7』は、第23号を5月、第24号を7月、第25号を9月、第26号を11月、第27号を令和2年1月、第28号を3月にそれぞれ発行し全会員に配布するとともに、同窓会等で学生会館を利用する卒業生や七大学関係者、そしてホームカミングデー、地域講演会の参加者等に無料で配布し、会員増強に資するよう努めました。

来年度より、学生会員サービス充実の一環として、希望者へ『學士會会報』と『NU7』を配布する予定です。

2. 学 士 会 館

(1) 会館の利用実績は次の通りです。

□会議室利用回数	3,491回	(4,149回)	※カッコ内は前年度の実績
□会議室利用人員	136,215名	(159,570名)	} ※延べ人数 計 284,818名 [1日平均871名] 工事休館日・年末年始を除く
□宿泊室利用人員	7,235名	(8,814名)	
□レストラン等利用人員	130,283名	(150,103名)	
□読書室利用会員	2,311名	(2,972名)	
□会員倶楽部室利用会員	8,774名	(10,132名)	

(2) 会館を適切に維持・保全するために、次の通り会館の補修・改修工事を行いました。

本年度の特筆すべき事項としては、学士会館の耐震診断結果(千代田区に報告済)に基づき実施しました本格的な「耐震補強工事」になります。8月の1ヶ月間全館休館の上実施致しました(工事期間は7月～9月)「耐震補強工事」により、学士会館は千代田区から耐震基準を満たす建物である旨の公示を受けております。

その他、以下の工事を実施しました。

- ・「301・302・203・202号室」音響設備・照明設備・舞台スクリーン等の改修工事
- ・「宴会厨房」プレハブ冷凍冷蔵庫・食器洗浄機他、厨房機器の交換工事
- ・「旧館3階チャペル」空調機修理工事
- ・各所漏水対策補修工事
- ・各種設備保全修理工事

(3) 学士会館の防火防災対策の一環として、次の通り実践的な防火防災訓練を行いました。

- ・大地震と火災を想定した、学士会館全従業員の防災訓練とAED取扱い訓練などを実施(8月)
- ・学士会館精養軒従業員の消火器・屋内消火栓等の取扱訓練実施(11月)

(4) 新型コロナウイルス感染防止対策として、以下の対応を実施しました。

- ・来館者向けに「アルコール消毒薬」を必要各所に設置
- ・館内の消毒箇所や消毒回数の増加
- ・全従業員、取引先、出入り協力業者の方を対象に「手洗い・アルコール消毒」の徹底と消毒薬の設置
- ・館内各トイレの全てのジェットタオルの廃止とペーパータオルの設置
- ・北側駐車場内の外部トイレの利用停止
- ・会員用施設(会員倶楽部室・読書室・談話室)の臨時使用休止

3. 講演会、談話会、その他の集会

(1) 午 餐 会

本年度は次の通り、各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,272名の参会がありました。なお、8月、12月は例年通り休会、また3月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休会致しました。

地域に生き世界に伸びる大阪大学の挑戦	西尾	章治郎	氏(平成31年	4月例会)
人はがんとどう向き合うか?	垣添	忠生	氏(令和元年	5月例会)
ブラックホール撮影成功～謎はどこまで解明されるか	本間	希樹	氏(令和元年	6月例会)
潜伏キリシタン関連遺産の文化的意義	服部	英雄	氏(令和元年	7月例会)
恐竜博2019:恐竜学の最前線と近未来をさぐる	真鍋	真	氏(令和元年	9月例会)
百舌鳥・古市古墳群の語るもの	白石	太一郎	氏(令和元年	10月例会)
はやぶさ2～深宇宙探査技術の最新動向	津田	雄一	氏(令和元年	11月例会)
歴史の中の台湾総統選挙	若林	正丈	氏(令和2年	1月例会)
折り紙研究最前線～折り紙はどこまで進化したのか	三谷	純	氏(令和2年	2月例会)

(2) 夕食会

本年度は次の通り、午餐会と同様に各分野で活躍される多彩な方々による講演会を開催し、延1,163名の参会がありました。なお、5月、8月、1月は例年通り休会、また3月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休会致しました。

劇団四季の現状と課題～演劇業界で生き抜くための組織づくり

	吉田 智誉樹 氏 (平成31年 4月例会)
A I と人間の共存・共栄を考える	長尾 真 氏 (令和 元年 6月例会)
米中関係の行方と日本に及ぼす影響	高原 明生 氏 (令和 元年 7月例会)
「知の体力」と「問う力」	永田 和宏 氏 (令和 元年 9月例会)
認知症への先制医療～その課題と展望	秋山 治彦 氏 (令和 元年10月例会)
防災・減災を目指した考古学の新たな挑戦～災害痕跡データベースの構築	村田 泰輔 氏 (令和 元年11月例会)
Change, or Die !	松本 晃 氏 (令和 元年12月例会)
地球と人類社会の未来に貢献する「知の協創の世界拠点」へ～今こそ大学の出番～	五神 真 氏 (令和 2年 2月例会)

(3) 新春講演会

本年度は次の通り、新春講演会を開催し、139名の参会がありました。

今どきの日本語 金田一 秀穂 氏 (令和 2年 1月 8日)

(4) 関西茶話会

本年度は昨年に引き続き、関西地区の会員を対象とした茶話会を開催し、延127名の参会がありました。

第35回「日本彫刻の和様をめぐって」	根立 研介 氏 (平成31年 4月13日)
第36回「仕掛学 - 『ついしたくなる』にはシカケがある -」	松村 真宏 氏 (令和 元年 6月15日)
第37回「ジュゴン、ウミガメ、オオナマズを追いかける～動物目線での海洋生物の行動観察～」	荒井 修亮 氏 (令和 元年10月19日)
第38回「『iPS細胞を用いた再生医療』～現状と展望～」	長船 健二 氏 (令和 2年 2月 8日)

(5) 見学会等

首都圏及び関西地域において、以下のとおり見学会等を開催致しました。

[首都圏]

本年度は次の通り、見学会（解説付き）等を開催し、延202名の参会がありました。

「劇団四季 最新ミュージカル『パリのアメリカ人』鑑賞&ステージ潜入ツアー」	(令和 元年 5月19日)
「『恐竜博2019』1日限りのナイトツアー」	(令和 元年 9月20日)
「間近で！観て 触って 体感～生物の不思議と魅力について学ぶ～」	(令和 元年11月10日)

〔関西地区〕

本年度は次の通り、見学会（解説付き）等を開催し、各93名の参会がありました。

「安楽寿院見学会」 根立 研介 氏（令和 元年 6月19日）

「對龍山莊見学会」 小川 史朗 氏（令和 元年 9月28日）

「手作り和菓子体験会（亀屋良長）」（令和 元年11月30日）

（6）クリスマス家族会

令和元年12月21日、学士会館においてクリスマス家族会を開催致しました。「催し」として、【キャラメルマシーンのスーパーサイエンスマジックショー】を開催し、401名の参会がありました。

（7）新年祝賀会

令和2年1月7日、佐々木毅理事長の新年の挨拶、賀宴、米澤賢一会員の謡曲披露の後、「催し」として、『北村姉妹』による【津軽三味線】で新年を祝いました。75名の参会がありました。

（8）若手交流会

本年度は次の通り、若手会員を対象としたイベントを開催し、42名の参会がありました。なお、令和2年3月29日にも、「English Rakugo Show ～笑いは世界をつなぐ！落語で学ぶ英語表現と日本文化～」の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止致しました。

「Let's 盆踊り～伝統から現代ポップスにのせて～」（令和 元年 6月23日）

「一目置かれる“英文ビジネスeメール”を学ぶ」（令和 元年 9月29日）

（9）若手茶話会

44歳までの会員を対象とした茶話会（「ミニプレゼン会」「読書会」「do café」）を、若手会員グループである「学士会 YELL」と連携して、2月を除く毎月定例で開催致しました。また、地域での催しとして、名古屋地区において茶話会や屋外 BBQ などを開催致しました。

さらに、Web 中継による遠隔地からの参加を本格化し、令和2年3月に参加者全員が個別の端末から Web に参加する Web 版若手茶話会を実施するなど、参加者数488名の参会がありました。

＜テーマ 一例＞

「札幌発、先端テクノロジーと映画・音楽の祭典“No Maps 2018”の成果」（ミニプレゼン会特別会）

ゲストプレゼンター 伊藤 博之 氏（平成31年 4月27日）

「進化精神医学概論」（ミニプレゼン会） 高野 覚 氏（令和 元年 7月21日）

（10）良縁企画

男性39歳～55歳、女性30歳～45歳の独身者に参加者を限定した良縁企画の第2回目を開催し、24名の参会がありました。

「第2回 年代限定良縁パーティー」（令和 2年 2月16日）

(11) 体験企画（中止）

令和2年3月14日に、「癒しの音色 ライアー（豎琴）体験」と題し、8名の講師によるレクチャー、及び演奏体験イベントを予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止致しました。

(12) 地域講演会

昨年度に続き、北海道、東北、名古屋大学の所在地域で講演会を開催し、延350名の参加がありました。九州地区は令和2年2月29日に、帯木蓬生氏による講演会（演題：「医学修業と文学修業」）を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止致しました。

- | | |
|--------------------------------------|--|
| □北海道地区（講演会・懇親会）
「七帝柔道と動物園」 | 共催 学士会、北海道大学校友会エルム
後援 北海道大学、北海道新聞社、NHK札幌放送局
小 菅 正 夫 氏（令和 元年10月12日）
(143名) |
| □東北地区（講演会・懇親会）
「伊達政宗が生きた時代の日本と世界」 | 共催 学士会、東北大学、東北大学菽友会
後援 河北新報社、NHK仙台放送局
平 川 新 氏（令和 元年11月 2日）
(83名) |
| □名古屋地区（講演会・夕食会）
「なんとめでたいご臨終」 | 共催 学士会、名古屋大学全学同窓会
後援 名古屋大学
小笠原 文 雄 氏（令和 元年11月27日）
(124名) |

(13) ホームカミングデーへの出店

昨年度に引き続き、本年度も各大学が主催するホームカミングデーに、次のとおり参加、協力しました。

- | | |
|---|--------------------------------|
| ① 大阪大学 学士会紹介 | (令和 元年 5月 3日) |
| ② 北海道大学 参加者配布資料へ学士会紹介資料同封、
北海道大学校友会エルム主催イベントへの協力 | (令和 元年 9月27日)
(令和 元年 9月28日) |
| ③ 東北大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 | (令和 元年 9月28日) |
| ④ 九州大学 七大学紹介及び学士会館オリジナル商品紹介 | (令和 元年10月19日) |
| ⑤ 東京大学 学士会ビア屋台 | (令和 元年10月19日) |
| ⑥ 名古屋大学 学士会紹介 | (令和 元年10月19日) |
| ⑦ 京都大学 学士会紹介 | (令和 元年11月 2日) |

(14) サマーパーティー・ニューイヤーパーティー

東京大学校友会と共催で、独身者を対象とした若手交流会を開催し、延107名の参加がありました。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 「サマーパーティー2019」 | (令和 元年 7月15日) |
| 「ニューイヤー・パーティー2020」 | (令和 2年 1月19日) |

(15) ウェルカムビアパーティー

若手会員で構成する幹事団により今年度の新卒会員を招待し、イベント「ウェルカムビアパーティー」を令和元年7月20日に開催しました。109名の参会がありました。

(16) 七大学学生の集い

学生会員に対する企画イベントとして、令和元年11月21日に「七大学学生の集い in 京都大学」を開催しました。懇親会に先立ち、NHKラジオ講座「入門ビジネス英語」に出演している講師を招いて学生向けにアレンジした「Englishセミナー」を実施し、京大生のみならず、九大生や阪大生も合わせた38名の参加がありました。京都大学楽友会館に初めて足を運んだという参加者も多く、懇親会場である「近衛Latin」(榊学士会館精養軒が運営受託)を知ってもらう契機となりました。また、本企画を通じ大学当局、京大体育会、その他京大ESS、京大写真部と友好的関係を築くことも出来ました。

(17) 提携サービス紹介

外部団体が企画・主催する「演劇」「コンサート」などの文化・芸術イベントを特別価格で提供する鑑賞ツアーや、引っ越し、機械警備、スポーツクラブなどを仲介する提携サービスを提供し、延417名のご利用がありました。

4. 諸会議等

(1) 通常代議員総会

本年度の通常代議員総会を、令和元年6月20日学士会館において開催致しました。当日の出席代議員77名、書面等による議決権行使代議員18名、合計95名の出席により総会が成立し、次の議案を諮りそれぞれ承認可決致しました。

議案1 平成30年度事業報告並びに決算報告について

議案2 理事の補充選任について

議案3 任期満了に伴う監事2名の選任について

(2) 臨時代議員総会

令和2年3月19日に予定をしていました「令和元年度臨時代議員総会」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、2月理事会決議に基づき開催を中止致しました。

(3) 理事会

本年度において次の通り開催し、諸般の会務について審議決定致しました。

□4月理事会(平成31年4月25日)

1. 令和元年度(2019年度)通常代議員総会の開催について
2. (代議員総会に諮る)新理事候補者について
3. 平成30年度(2018年度)決算概要について
4. 「学士会館再開発委員会」委員の選任と今後の進め方について
一併せて、隣地所有者との交渉状況について一
5. (定款第6条1項6号による)特選入会希望者について

- 報告（１）新卒業学士等の入会状況について
- （２）平成３１年度期首会員数及び平成３０年度の会員数動向
- （３）「耐震補強工事」の実施準備状況について

□５月理事会（令和元年５月２３日）

- １．令和元年度通常代議員総会の議案について
- ２．(株)学士会館精養軒の第６８期定時株主総会議案について
- ３．「学士会館再開発委員会」の進め方について

- 報告（１）「紹介キャンペーン」の実施について（協力のご依頼）
- （２）来年（令和２年）の「新年祝賀会」の日程変更について

□６月理事会（令和元年６月２０日）

- 報告（１）学士会館の耐震補強工事の実施について
- （２）（本日開催）通常代議員総会について

□７月理事会（令和元年７月２５日）

- １．令和元年度・第一四半期（４月～６月）会計報告について
- ２．Ｓ社との基本協議に関する事前合意内容
及び再開発関連の今後の検討課題等について

- 報告（１）耐震補強工事の実施及び耐震補強工事に伴う学士会館の休館
（７月２９日～８月３０日）について
- （２）会員増強—第一四半期（４月～６月）の会員数動向等について
- （３）「地方講演会」の開催予定について
- （４）「第５８回全国七大学総合体育大会（七大戦）」の開会式について
- （５）令和元年度後半の理事会等日程について

□９月理事会（令和元年９月２６日）

- １．Ｓ社との「基本協議事前合意書」締結と今後の交渉の進め方について
- ２．（定款第６条１項６号による）「特選入会希望者」について
- ３．「２０２０年東京オリンピック」期間中の学士会館宿泊利用の取り扱いについて

- 報告（１）耐震補強工事の実施状況について
- （２）会員増強について
- （３）「地域講演会」の開催予定について
- （４）第５８回「全国七大学総合体育大会」の競技結果及び閉会式について

□１０月理事会（令和元年１０月２４日）

- １．共同開発事業に向けてのＳ社への提案内容について
- ２．令和元年度上半期決算報告及び令和元年度上半期資金運用状況並びに
下半期資金運用計画（案）について
—併せて（株）学士会館精養軒の令和元年度上半期決算報告—
- ３．「会員氏名録」の発行のあり方について

- 報告（１）会員増強について
- （２）「地域講演会」の実施結果及び開催予定について

□ 1 1月理事会（令和元年11月28日）

1. 学士会館の再開発問題—S社への提案結果について
 2. 令和元年度「臨時代議員総会」の開催について
 3. 令和2年度（2020年度）理事会等の会議日程について
 4. 『会員氏名録』の見直しについて—今後の検討の進め方—
- 報告（1）会員増強について—会員数の増減報告—
（2）「地域講演会」の実施報告及び開催予定について

□ 1月理事会（令和2年1月23日）

1. 令和元年度決算見通しについて
 2. 令和元年度臨時代議員総会議題について
 3. 『会員氏名録』に対する会員アンケートの集計結果及び今後の対応について
- 報告（1）学士会館再開発問題に関するS社との協議状況について
（2）学士会館の耐震工事完了を受けての千代田区の公表内容について
（3）令和元年度第3四半期会員数増減について

□ 2月理事会（令和2年2月27日）

1. 令和2年度事業計画案について
 2. 令和2年度予算案及び資金計画案について
 3. 学士会館の再開発問題の進捗状況について
 4. 「会員増強実行委員会」からの提案事項について
 5. 「新型コロナウイルス」による営業上の影響と感染拡大予防に向けた取り組みについて—夕食会・午餐会の扱い、臨時代議員総会の扱い—
- 報告（1）「会員増強」について
—新卒業学士・修士等に対する入会勧誘活動について—
（2）「地域講演会（九州講演会）」の開催延期について

なお、3月理事会は「新型コロナウイルス」感染拡大防止対策のため、休会致しました。

（4）監事会

令和元年5月23日に監事会を開催し、以下の議題について検査及び審議を行いました。

1. 監査法人からの報告
2. 平成30年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び財務諸表の注記の検査
3. 「公益目的支出計画実施報告書」の内容について
4. 代議員総会第3号議案（任期満了に伴う監事2名の選任）について

（5）常務会

毎月定期的に常務会を開催し、理事会提出議案の審議等、種々の会務を審議し必要事項を決定致しました。

(6) 諸委員会

ア. 会報編集委員会

本年度は次の通り開催し、種々検討・協議の上、各号の執筆候補者を決定致しました。

第1回	令和	元年	5月23日	会報第939号
第2回	令和	元年	7月25日	会報第940号
第3回	令和	元年	9月26日	会報第941号
第4回	令和	元年	11月28日	会報第942号
第5回	令和	2年	1月23日	会報第943号
第6回	令和	2年	3月19日	会報第944号

イ. 会員増強実行委員会

委員会は、次の通り継続開催され、会員増強に向けての各種施策について協議を行いました。

また、『NU7』については、編集担当委員による内容確認の上で、隔月で発行しています。

第27回	令和	元年	5月22日
第28回	令和	元年	10月10日
第29回	令和	2年	2月3日

ウ. 学士会館再開発委員会

理事会の下に、「学士会館再開発委員会」を設け、令和元年5月から令和2年2月にかけて計8回の委員会を以下の通り開催し、委員会答申を踏まえ策定した「会館整備に関する基本方針」に基づき、学士会館の整備・再開発に向けた具体的な活動を行いました。

[学士会館再開発委員会 開催日]

第1回	令和	元年	5月23日
第2回	令和	元年	6月20日
第3回	令和	元年	7月25日
第4回	令和	元年	9月26日
第5回	令和	元年	10月24日
第6回	令和	元年	11月28日
第7回	令和	2年	1月23日
第8回	令和	2年	2月27日

エ. 趣味同好会

令和元年12月2日に撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語各会の年間優秀会員にそれぞれ理事長杯を授与し、その後、懇親会を開催し、懇談を行いました。

5. 会 員

本年度における正会員の増減及び年度末正会員数は次の通りです。※カッコ内は前年度実績

新 会 員	6 3 9 名	(8 9 2 名)
逝 去 会 員	7 2 6 名	(6 7 3 名)
退 会 会 員	1, 1 3 9 名	(1, 0 2 9 名)
会費長期未納退会者	2 7 4 名	(2 9 9 名)
差 引 減	1, 5 0 0 名	(1, 1 0 9 名)
現 在 会 員 数	4 2, 9 0 6 名	(内 終身会員5, 9 3 3 名)

(注:「終身会員」の内、戦前に制定された終身会員制度による加入者が403名、平成21年度より新たに制度化された「新終身会員」が5,530名になります)

学 生 会 員 2, 8 8 4 名

(注:3月卒業・修了予定の365名を含めた会員数になります)

6. そ の 他

当会は、(株)学士会館精養軒に学士会館の運營業務を委託しておりますが、平成16年2月以降、当会が同社の株式を100%保有しております。同社の概要は次の通りです。

[(株)学士会館精養軒の概要] (令和2年3月31日現在)

- 名 称 株式会社学士会館精養軒
- 所 在 東京都千代田区神田錦町3-28
- 代表者 代表取締役社長 小堀 康生
- 資本金 10,000,000円
- 売上高 1,491,003千円 (令和元年度決算)

(株)学士会館精養軒の令和元年度の営業結果は、次の通りです。

□令和元年度 (平成31年4月1日~令和2年3月31日) 決算

- ・売上高 1,491,003千円 (前年度:1,682,741千円)
- ・営業利益 △56,429千円 (同 : 7,723千円)
- ・経常利益 △50,098千円 (同 : 20,081千円)

なお、当会との取引関係については、「令和元年度決算報告」における「財務諸表の注記」をご参照下さい。

Ⅱ. 令和元年度 決算報告（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

貸借対照表

（令和2年3月31日現在）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	220,500,179	223,729,422	△ 3,229,243
未収金	33,376,971	37,673,717	△ 4,296,746
未収消費税等	3,874,800	0	3,874,800
前払費用	2,804,665	2,989,982	△ 185,317
仮払金	384,610	0	384,610
流動資産合計	260,941,225	264,393,121	△ 3,451,896
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	432,393,320	432,393,320	0
建物	391,052,141	284,489,016	106,563,125
基本財産合計	823,445,461	716,882,336	106,563,125
(2) 特定資産			
建物改築引当特定資産	1,529,641,600	1,552,340,400	△ 22,698,800
建物設備修繕特定資産	1,299,279,742	1,488,790,639	△ 189,510,897
会員活動強化特定資産	282,123,888	294,451,893	△ 12,328,005
終身会費特定資産	108,340,000	105,370,000	2,970,000
退職給付引当特定資産	86,562,750	82,522,750	4,040,000
役員退職慰労引当特定資産	4,641,264	3,820,429	820,835
特定資産合計	3,310,589,244	3,527,296,111	△ 216,706,867
(3) その他固定資産			
什器備品	56,038,027	57,253,596	△ 1,215,569
一括償却資産	3,897,944	1,369,226	2,528,718
ソフトウェア	12,375,636	13,163,532	△ 787,896
子会社株式	16,000	16,000	0
その他固定資産合計	72,327,607	71,802,354	525,253
固定資産合計	4,206,362,312	4,315,980,801	△ 109,618,489
資 産 合 計	4,467,303,537	4,580,373,922	△ 113,070,385

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	18,682,251	28,751,983	△ 10,069,732
前受金	425,080	1,020,920	△ 595,840
預り金	809,619	838,282	△ 28,663
仮受金	408,000	0	408,000
未払消費税等	0	3,430,600	△ 3,430,600
賞与引当金	6,695,000	6,887,000	△ 192,000
流動負債合計	27,019,950	40,928,785	△ 13,908,835
2. 固定負債			
退職給付引当金	86,562,750	82,522,750	4,040,000
役員退職慰労引当金	4,641,264	3,820,429	820,835
固定負債合計	91,204,014	86,343,179	4,860,835
負債合計	118,223,964	127,271,964	△ 9,048,000
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	4,349,079,573	4,453,101,958	△ 104,022,385
(うち基本財産への充当額)	(823,445,461)	(716,882,336)	(106,563,125)
(うち特定資産への充当額)	(3,219,385,230)	(3,440,952,932)	(△ 221,567,702)
正味財産合計	4,349,079,573	4,453,101,958	△ 104,022,385
負債及び正味財産合計	4,467,303,537	4,580,373,922	△ 113,070,385

正味財産増減計算書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	24,997,522	26,383,927	△ 1,386,405
② 受取会費			
普通会費収益	149,733,900	156,073,300	△ 6,339,400
終身会費収益	15,300,000	18,450,000	△ 3,150,000
③ 会館運営収益			
業務委託固定収益	273,660,000	289,440,000	△ 15,780,000
業務委託変動収益	43,745,226	49,237,578	△ 5,492,352
④ 事業収益			
講演会等収益	19,095,192	24,382,179	△ 5,286,987
会報等広告料収益	7,003,887	8,054,514	△ 1,050,627
同好会費収益	1,087,772	973,775	113,997
氏名録発行収益	11,062	158,347	△ 147,285
⑤ 雑収益			
受取利息	2,413	1,925	488
補助金収益	17,207,000	0	17,207,000
その他収益	6,336,198	2,590,908	3,745,290
経常収益計	558,180,172	575,746,453	△ 17,566,281
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	2,479,042	2,525,465	△ 46,423
給与手当	84,171,844	87,474,954	△ 3,303,110
賞与引当金繰入額	4,954,300	5,096,380	△ 142,080
退職給付費用	2,989,600	3,627,850	△ 638,250
福利厚生費	14,252,368	14,680,095	△ 427,727
旅費交通費	2,439,390	2,631,216	△ 191,826
電話費	649,120	658,477	△ 9,357
減価償却費	70,874,270	69,285,507	1,588,763
什器備品費	723,765	851,924	△ 128,159
事務用品費	471,657	583,500	△ 111,843
消耗品費	4,492,219	4,340,794	151,425
図書費	415,105	440,768	△ 25,663
営繕費	27,948,217	20,491,801	7,456,416
施設保守費	78,551,740	78,241,890	309,850
給水冷暖房費	20,156,434	21,810,433	△ 1,653,999
電灯電力費	31,339,283	37,290,867	△ 5,951,584
保険料	1,213,110	1,093,866	119,244
租税公課	63,225,300	61,971,100	1,254,200
会報費	50,898,633	52,914,077	△ 2,015,444
氏名録関連費	1,900	48,039	△ 46,139
講演会等経費	19,247,607	23,426,341	△ 4,178,734
会員活動強化費	5,793,151	7,421,886	△ 1,628,735
七大学支援費	7,505,000	7,907,000	△ 402,000
システム管理費	5,823,740	9,201,658	△ 3,377,918
会場施設使用料	1,406,000	1,533,000	△ 127,000
事業費計	502,022,795	515,548,888	△ 13,526,093

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
② 管理費			
役員報酬	5,511,957	5,372,691	139,266
給与手当	29,573,899	30,734,453	△ 1,160,554
賞与引当金繰入額	1,740,700	1,790,620	△ 49,920
役員退職慰労引当金繰入額	820,835	804,583	16,252
退職給付費用	1,050,400	1,274,650	△ 224,250
福利厚生費	6,212,975	6,216,437	△ 3,462
旅費交通費	1,498,689	1,583,122	△ 84,433
会議費	4,880,093	7,972,035	△ 3,091,942
賃借料	115,628	115,628	0
電話費	278,198	282,207	△ 4,009
減価償却費	4,173,933	3,523,260	650,673
事務用品費	202,142	250,070	△ 47,928
給水冷暖房費	623,406	674,561	△ 51,155
電灯電力費	969,261	1,153,333	△ 184,072
租税公課	20,450,506	14,475,278	5,975,228
会員証作成費	1,155,733	1,202,951	△ 47,218
集金費	5,060,102	5,087,117	△ 27,015
業務報酬料	4,950,000	4,950,000	0
会館整備検討費	830,812	1,099,557	△ 268,745
システム管理費	5,153,223	4,710,969	442,254
雑費	2,144,367	1,421,406	722,961
管理費計	97,396,859	94,694,928	2,701,931
経常費用計	599,419,654	610,243,816	△ 10,824,162
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 41,239,482	△ 34,497,363	△ 6,742,119
特定資産評価損益等	△ 45,825,200	△ 14,302,900	△ 31,522,300
当期経常増減額	△ 87,064,682	△ 48,800,263	△ 38,264,419
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 基本財産除却損	15,458,149	68,478	15,389,671
② 特定資産売却損	720,000	0	720,000
③ 固定資産除却損	639,554	938,985	△ 299,431
経常外費用計	16,817,703	1,007,463	15,810,240
当期経常外増減額	△ 16,817,703	△ 1,007,463	△ 15,810,240
税引前一般正味財産増減額	△ 103,882,385	△ 49,807,726	△ 54,074,659
法人税・住民税及び事業税	140,000	140,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 104,022,385	△ 49,947,726	△ 54,074,659
一般正味財産期首残高	4,453,101,958	4,503,049,684	△ 49,947,726
一般正味財産期末残高	4,349,079,573	4,453,101,958	△ 104,022,385
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,349,079,573	4,453,101,958	△ 104,022,385

正味財産増減計算内訳書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日)

(単位：円)

科目	実施事業等会計				その他事業会計						法人会計	合計	
	会報発行事業	寄附事業	小計	会館運営事業	講演会等事業	会員親睦事業	七大学支援事業	その他事業	小計				
I一般正味財産増減の部													
I. 経常増減の部													
(1) 経常収益													
①特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24,997,522
②受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	165,033,900
③会館運営収益	0	0	0	317,405,226	0	0	0	0	0	0	0	0	317,405,226
④事業収益	7,003,887	0	7,003,887	0	8,260,456	3,859,320	0	8,074,250	20,194,026	0	0	0	27,197,913
⑤雑収益	0	0	0	17,207,000	0	0	0	0	17,207,000	0	0	0	23,545,611
経常収益計	7,003,887	0	7,003,887	334,612,226	8,260,456	3,859,320	0	8,074,250	354,806,252	0	0	0	558,180,172
(2) 経常費用													
①事業費	103,322,343	7,000,000	110,322,343	292,525,527	25,168,562	34,410,715	24,935,549	14,660,099	391,700,452	0	0	0	502,022,795
役員報酬	1,673,110	0	1,673,110	241,779	241,779	161,186	161,188	0	805,932	0	0	0	2,479,042
給料手当	33,668,737	0	33,668,737	22,726,397	10,942,339	7,575,465	7,575,465	1,683,441	50,503,107	0	0	0	84,171,844
賞与引当金繰入額	1,981,720	0	1,981,720	1,337,661	644,059	445,887	445,887	99,086	2,972,580	0	0	0	4,954,300
退職給付費用	1,195,840	0	1,195,840	807,192	388,648	269,064	269,064	59,792	1,793,760	0	0	0	2,989,600
福利厚生費	5,700,947	0	5,700,947	3,848,139	1,852,807	1,282,713	1,282,712	285,050	8,551,421	0	0	0	14,252,368
旅費交通費	780,604	0	780,604	658,635	317,120	341,514	268,332	73,185	1,658,786	0	0	0	2,439,390
電話費	188,244	0	188,244	0	162,280	207,718	12,983	77,895	460,876	0	0	0	649,120
減価償却費	1,417,485	0	1,417,485	50,320,731	708,742	10,631,140	6,378,684	1,417,488	69,456,785	0	0	0	70,874,270
什器備品費	0	0	0	723,765	0	0	0	0	723,765	0	0	0	723,765
事務用品費	136,780	0	136,780	0	117,914	150,930	9,433	56,600	334,877	0	0	0	471,657
消耗品費	0	0	0	3,593,775	449,221	449,223	0	0	4,492,219	0	0	0	4,492,219
図書費	0	0	0	415,105	0	0	0	0	415,105	0	0	0	415,105
営繕費	0	0	0	27,948,217	0	0	0	0	27,948,217	0	0	0	27,948,217
施設保守費	0	0	0	78,551,740	0	0	0	0	78,551,740	0	0	0	78,551,740
給水冷暖房費	403,128	0	403,128	14,311,068	201,564	3,023,465	1,814,079	403,130	19,753,306	0	0	0	20,156,434
電灯電力費	626,785	0	626,785	22,250,890	313,392	4,700,892	2,820,535	626,789	30,712,498	0	0	0	31,339,283
保険料	0	0	0	1,213,110	0	0	0	0	1,213,110	0	0	0	1,213,110
租税公課	0	0	0	63,225,300	0	0	0	0	63,225,300	0	0	0	63,225,300
会報費	50,898,633	0	50,898,633	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,898,633
氏名録関連費	0	0	0	0	0	1,900	0	0	1,900	0	0	0	1,900
講演会等経費	0	0	0	0	7,634,345	4,371,266	0	7,241,996	19,247,607	0	0	0	19,247,607
会員活動強化費	0	0	0	0	0	0	3,333,517	2,459,634	5,793,151	0	0	0	5,793,151
七大学支援費	0	7,000,000	7,000,000	0	0	0	505,000	0	505,000	0	0	0	7,505,000
システム管理費	4,650,330	0	4,650,330	352,023	293,352	293,352	58,670	176,013	1,173,410	0	0	0	5,823,740
会場施設使用費	0	0	0	0	901,000	505,000	0	0	1,406,000	0	0	0	1,406,000

②管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97,396,859	97,396,859
役員報酬											5,511,957	5,511,957
給料手当											29,573,899	29,573,899
賞与引当金繰入額											1,740,700	1,740,700
役員退職慰労引当金繰入額											820,835	820,835
退職給付費用											1,050,400	1,050,400
福利厚生費											6,212,975	6,212,975
旅費交通費											1,498,689	1,498,689
会議費											4,880,093	4,880,093
賃借料											115,628	115,628
電話費											278,198	278,198
減価償却費											4,173,933	4,173,933
事務用品費											202,142	202,142
給水冷暖房費											623,406	623,406
電灯電力費											969,261	969,261
租税公課											20,450,506	20,450,506
会員証作成費											1,155,733	1,155,733
集金費											5,060,102	5,060,102
業務報酬料											4,950,000	4,950,000
会館整備検討費											830,812	830,812
システム管理費											5,153,223	5,153,223
雑費											2,144,367	2,144,367
経常費用計	103,322,343	7,000,000	110,322,343	292,525,527	34,410,715	24,935,549	14,660,099	391,700,452	97,396,859	599,419,654		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 96,318,456	△ 7,000,000	△ 103,318,456	42,086,699	△ 30,551,395	△ 24,935,549	△ 6,585,849	△ 36,894,200	98,973,174	△ 41,239,482		
特定資産評価損益等			0						△ 45,825,200	△ 45,825,200		
当期経常増減額	△ 96,318,456	△ 7,000,000	△ 103,318,456	42,086,699	△ 30,551,395	△ 24,935,549	△ 6,585,849	△ 36,894,200	53,147,974	△ 87,064,682		
2. 経常外増減の部												
(1) 経常外収益											0	0
経常外収益計												
(2) 経常外費用												
①基本財産除却損											15,458,149	15,458,149
建物除却損											14,286,415	14,286,415
建物附属設備除却損											1,171,734	1,171,734
②特定資産売却損											720,000	720,000
③固定資産除却損											639,554	639,554
什器備品除却損											507,276	507,276
一括償却資産廃棄損											132,278	132,278
経常外費用計											16,817,703	16,817,703
当期経常外増減額											△ 16,817,703	△ 16,817,703
税引前一般正味財産増減額	△ 96,318,456	△ 7,000,000	△ 103,318,456	42,086,699	△ 30,551,395	△ 24,935,549	△ 6,585,849	△ 36,894,200	△ 103,882,385	△ 103,882,385		
法人税・住民税及び事業税												140,000
当期一般正味財産増減額											△ 104,022,385	△ 104,022,385
一般正味財産期首残高											4,453,101,958	4,453,101,958
一般正味財産期末残高											4,349,079,573	4,349,079,573
II 指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額											0	0
指定正味財産期首残高											0	0
指定正味財産期末残高											0	0
III 正味財産期末残高											4,349,079,573	4,349,079,573

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①子会社株式：原価法によっている。

②その他有価証券：期末の市場価格等に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備は除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用している。また税法上の一括償却資産に該当するものは、3年間の均等償却によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：法人内における利用可能期間（5年）に基づき定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

①賞与引当金：職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

③役員退職慰労引当金：役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

(5) 実施事業資産

学士会館の面積2%相当を事務スペースとして使用。

（土地 8,647,866 円 建物 7,821,042 円）

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	432,393,320	—	—	432,393,320
建 物	284,489,016	158,822,567	52,259,442	391,052,141
小 計	716,882,336	158,822,567	52,259,442	823,445,461
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,552,340,400	—	22,698,800	1,529,641,600
建物設備修繕特定資産	1,488,790,639	61,307,000	250,817,897	1,299,279,742
会員活動強化特定資産	294,451,893	295	12,328,300	282,123,888
終身会費特定資産	105,370,000	15,500,000	12,530,000	108,340,000
退職給付引当特定資産	82,522,750	4,040,000	—	86,562,750
役員退職慰労引当特定資産	3,820,429	820,835	—	4,641,264
小 計	3,527,296,111	81,668,130	298,374,997	3,310,589,244
合 計	4,244,178,447	240,490,697	350,634,439	4,134,034,705

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土 地	432,393,320	—	(432,393,320)	—
建 物	391,052,141	—	(391,052,141)	—
小 計	823,445,461	—	(823,445,461)	—
特定資産				
建物改築引当特定資産	1,529,641,600	—	(1,529,641,600)	—
建物設備修繕特定資産	1,299,279,742	—	(1,299,279,742)	—
会員活動強化特定資産	282,123,888	—	(282,123,888)	—
終身会費特定資産	108,340,000	—	(108,340,000)	—
退職給付引当特定資産	86,562,750	—	—	(86,562,750)
役員退職慰労引当特定資産	4,641,264	—	—	(4,641,264)
小 計	3,310,589,244	—	(3,219,385,230)	(91,204,014)
合 計	4,134,034,705	—	(4,042,830,691)	(91,204,014)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,201,410,167	1,810,358,026	391,052,141
什器備品	279,545,143	223,507,116	56,038,027
一括償却資産	14,480,279	10,582,335	3,897,944
ソフトウェア	76,118,513	63,742,877	12,375,636
合計	2,571,554,102	2,108,190,354	463,363,748

5. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属性	法人等の名称	住所	資産総額	事業内容	議決権所有割合
子会社	株式会社 学士会館精養軒	東京都千代田区神田錦町 3-28-1	598,061,121	飲食業・ 旅館他	100%

関係内容		取引の内容	取引金額	科目	期末残高
役員の兼務等	事業上の関係	会館運営に伴う 施設貸与(※)	315,745,226	未収金	28,274,899
—	会館運営の委託				

上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税が含まれている。

取引条件及び取引条件の決定方針等

(※) 価格その他の取引は、市場実勢を参考に当会が希望価格を提示し、価格交渉の上で決定している。

6. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

①退職給付債務	△ 86,562,750
②会計基準変更時差異の未処理額	0
③退職給付引当金(①+②)	△ 86,562,750

(3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

①勤務費用	4,040,000
②会計基準変更時差異の費用処理額	0
③退職給付費用 (①+②)	4,040,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

7. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、仕組債により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、仕組債のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

特定資産の一部は、債券、仕組債であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）がある。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①資金管理規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資金管理規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

関連する市場の動向を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産明細

財務諸表に対する注記に記載しているため、附属明細での記載を省略している。

2. 引当金明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	6,887,000	6,695,000	6,887,000	—	6,695,000
退 職 給 付 引 当 金	82,522,750	4,040,000	0	—	86,562,750
役員退職慰労引当金	3,820,429	820,835	0	—	4,641,264
合 計	93,230,179	11,555,835	6,887,000	—	97,899,014

財 産 目 録

(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

科	目	金	額	
I 資産の部				
1. 流動資産				
	現金預金			
	現金	(手許有高)	2,464,020	
	振替貯金	(ゆうちょ銀行)	6,168,623	
	普通預金	(三菱UFJ銀行他)	211,867,536	
	未収金	(会館運営収入未収分他)	33,376,971	
	未収消費税等	(令和元年度還付消費税)	3,874,800	
	前払費用	(損害保険、前払交通費他)	2,804,665	
	仮払金	(令和2年度鑑賞ツアー)	384,610	
	流動資産合計		260,941,225	
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
	土地	(千代田区神田錦町三丁目 28番1, 28番2, 28番3, 28番4, 敷地3,399.97㎡)	432,393,320	
	建物	(千代田区神田錦町三丁目 28番地1学士会館建物地下1 階付5階建延9,337.47㎡)	391,052,141	
	基本財産合計		823,445,461	
(2) 特定資産				
	建物改築引当特定資産	(第331回利付国債(10年)他)	1,529,641,600	
	建物設備修繕特定資産	(第144回三菱東京UFJ銀行債他)	1,299,279,742	
	会員活動強化特定資産	(第27回三井住友銀行債他)	282,123,888	
	終身会費特定資産	(三井住友銀行定期預金他)	108,340,000	
	退職給付引当特定資産	(三井住友銀行普通預金他)	86,562,750	
	役員退職慰労引当特定資産	(三菱UFJ銀行普通預金)	4,641,264	
	特定資産合計		3,310,589,244	
(3) その他固定資産				
	什器備品	(音響照明設備等他)	56,038,027	
	一括償却資産	(職員用PC他)	3,897,944	
	ソフトウェア	(会員DB元号対応追加機能)	12,375,636	
	子会社株式	(閑学会館精養軒)	16,000	
	その他固定資産合計		72,327,607	
	固定資産合計		4,206,362,312	
	資産合計		4,467,303,537	
II 負債の部				
1. 流動負債				
	未払金	(各業者に対する未払額)	18,682,251	
	前受金	(令和2年度会報広告料他)	425,080	
	預り金	(源泉所得税・住民税)	809,619	
	仮受金	(令和2年度鑑賞ツアー)	408,000	
	賞与引当金	(職員16名分)	6,695,000	
	流動負債合計		27,019,950	
2. 固定負債				
	退職給付引当金	(職員16名分)	86,562,750	
	役員退職慰労引当金	(役員19名分)	4,641,264	
	固定負債合計		91,204,014	
	負債合計		118,223,964	
	正味財産		4,349,079,573	

令和2年5月29日

一般社団法人 学士会
理事長 佐々木 毅 殿

一般社団法人 学 士 会

監 事 岡 田 明 重 ⑩

監 事 橋 本 徹 ⑩

監 事 福 井 俊 彦 ⑩

監 事 三 木 繁 光 ⑩

監 査 報 告

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの当法人の事業年度の事業報告、計算書類、附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務の執行について監査を行いましたので、以下の通り報告致します。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及びその使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の調査を行い、当該事業年度の事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討いたしました。さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について監査を行った。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- (4) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

第2号議案

任期満了に伴う理事14名の選任について

現任理事15名中、小野寺正理事を除く14名が本代議員総会終結の時をもって任期満了となります。したがって、本代議員総会にて理事14名の選任をお願いいたします。

なお、定款第26条の定めにより、本会の理事定数は10名以上15名以内となっております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1 再任	佐々木 毅 ささき たけし	東京大学 法学部 昭和40年卒	学士会 理事長 元東京大学 総長（名誉教授）、日本学士院会員 （公社）国土緑化推進機構 理事長
2 再任	大垣 眞一郎 おおがき しんいちろう	東京大学 工学部 昭和44年卒	学士会 常務理事・会員増強実行委員会委員長 前（公財）水道技術研究センター 理事長 東京大学 名誉教授
3 再任	桐野 高明 きりの たかあき	東京大学 医学部 昭和47年卒	学士会 常務理事・学士会館再開発委員会委員長 （独法）佐賀県医療センター好生館理事長 元東京大学理事・副学長（名誉教授）
4 再任	佐藤 禎一 さとう ていいち	京都大学 法学部 昭和39年卒	学士会 常務理事・会報編集委員会委員長 東京国立博物館名誉館長、元文部事務次官 元日本政府ユネスコ代表部特命全権大使
5 再任	五十嵐 三津雄 いがらし みつお	北海道大学 法学部 昭和38年卒	学士会 理事 （公財）大川情報通信基金 会長 元郵政事務次官
6 再任	小林 俊一 こばやし しゅんいち	大阪大学 理学部 昭和37年卒	学士会 理事 理化学研究所名誉相談役 元東京大学 副学長（名誉教授）
7 再任	篠沢 恭助 しのざわ きょうすけ	東京大学 法学部 昭和35年卒	学士会 理事 （公財）資本市場研究会 顧問 元大蔵事務次官
8 再任	梶山 千里 かじやま ちさと	九州大学 工学部 昭和39年卒	学士会 理事 福岡女子大学 理事長・学長 元九州大学 総長（名誉教授）
9 再任	長尾 真 ながお まこと	京都大学 工学部 昭和34年卒	学士会 理事 元国立国会図書館館長、日本学士院会員 元京都大学 総長（名誉教授）
10 再任	丹羽 宇一郎 にわ ういちろう	名古屋大学 法学部 昭和37年卒	学士会 理事 元伊藤忠商事株式会社 取締役会長 元中華人民共和国駐劔特命全権大使

1 1 再任	あべ 阿部	ひろゆき 博之	東北大学 工学部 昭和 34 年卒	学士会 理事 (公社)日本工学アカデミー会長 元東北大学 総長 (名誉教授)
1 2 再任	かばやま 樺山	こういち 紘一	東京大学 文学部 昭和 40 年卒	学士会 理事 印刷博物館館長 東京大学名誉教授
1 3 再任	いなば 稲葉	のぶお 延雄	東京大学 経済学部 昭和 49 年卒	学士会 理事 ㈱リコー取締役会議長、リコー経済社会研究所常 任参与、元日本銀行理事
1 4 再任	さくらい 櫻井	りゅうこ 龍子	九州大学 法学部 昭和 44 年卒	学士会 理事 元最高裁判所判事 元労働省女性局長

第3号議案

任期満了に伴う監事2名の選任について

現任監事4名のうち、本代議員総会終結の時をもって岡田明重監事及び三木繁光監事の2名が任期満了となりますので、監事2名の選任をお願いいたします。

本議案につきましては、監事全員の同意を得ております。

候補者は次のとおりです。

候補者 番号	氏 名	出身大学・学部 卒年等	略歴、本会における役職等
1 再任	おかだ 岡田 あきしげ 明重	東京大学 法学部 昭和38年卒	学士会 監事 三井住友銀行名誉顧問 元三井住友銀行会長
2 再任	みき 三木 しげみつ 繁光	東京大学 法学部 昭和33年卒	学士会 監事 三菱UFJ銀行名誉顧問 元三菱東京UFJ銀行会長